



図5 PLCβ4の情報伝達における役割

Gタンパク質連動型受容体が神経伝達物質を受容して、Gタンパク質のα体が遊離しPLCβ4を活性化するとPIP<sub>2</sub>はIP<sub>3</sub>とDAGに加水分解される。IP<sub>3</sub>は小胞からのCa<sup>2+</sup>放出を促進し、これにより原形質内のCa<sup>2+</sup>濃度が高まるとPKCがDAGに接着してPKCが活性化される。活性化したPKCはタンパク質をリン酸化する。リン酸化されたタンパク質は様々な細胞応答を制御する。